

# 答えて市長！一般質問

## 「コロナウイルス感染症対応のため一般質問を取りやめ」

市執行部への業務への影響を考慮し、  
感染拡大予防のため、

予定されていた12名の一般質問を取りやめました。

予定されていた一般質問について、後日、書面にて回答がありましたので、  
質問者が要約してお知らせします。

[経緯]

3月2日、議会運営委員会において、一般質問を実施すべきか検討されました。市内に感染者はなく、一般質問の日程まで日にちがあることから、早々に中止を決定するべきではないと、状況変化を注視することとなりました。その後、市内事業所に勤務する方が新型コロナウイルスに感染したとの発表をうけ、3月10日に議会内で再度協議を行った結果、市執行部への業務への影響を考慮し、感染拡大防止のため、今定例会での一般質問を取りやめることを決定しました。

なお、稲葉剛治議員・林美希議員の2名は、3月2日の議会運営委員会終了後、本人の申し出により一般質問を取り下げました。



### 「断らない」相談窓口設置 と支援導入を

五十嵐 恵千子



**問** 市民の暮らしが多様化する中、個人が抱える課題は複合化・複雑化し、何処へ相談してよいか判らないといった声があります。当市も「誰ひとり取り残さない」SDGsの視点で、市民の様々な相談を「断らないで」受け止め、ワンストップで問題解決をする窓口設置と支援体制の拡充を。

**答** 当市では、子育て支援、生活困窮者、障がい者支援、高齢者支援に、各々、担当ケースワーカーや専門職員を配置し問題解決に努めている。また、その過程において、複数の問題を抱えるケースは担当者や関係機関へ適切に繋げることを基本に、複合化・複雑化した相談については、関係機関による会議を開催し、アセスメントを共有し、支援や役割を調整しながら、解決に向けた連携も図っている。お尋ねの、SDGsの視点も踏まえた「断らない相談窓口設置と支援導入」については、当市における現状の分析、市民ニーズ、人材の確保、地域資源の状況等を踏まえながら、当市の支援スタイルに一番見合った形を目指して、具体的な検討に向けた作業に着手する。

### 木売落し貯留計画は見直し 調整池設置も現時点は困難

降旗 聡



**問** 浸水（内水）対策は喫緊の課題。吉川駅北口周辺地域の治水対策としての「木売落し貯留計画の経過と課題、今後の進め方」について。

**答** 総合治水計画において、降雨量が3年確立から5年確立になり、この増加分に対応するために検討を進めた。検討を進める中、毎年のように長時間連続した豪雨が発生していることから、機械や設備の増強に加え、軟弱地盤への対応など、事業費が増大したため、事業費の抑制を検討した。しかし、最終的に補助金交付要件の費用対便益比を満たすことができず、計画を見直すことを今年1月に決定。今後は、改めて様々な手法について検討していく。

**問** 吉川駅北口地域・南中学校周辺地域の対策として、大規模調整池設置の考えについて。

**答** 雨水貯留は、区域外貯留、排水区の変更、整備する場所なども含めて、事業化に向けた手続きや財源など様々な課題がある。また、ポンプでくみ上げるのではなく、高低差を利用して池への流入を行わなければならないなど、技術的な制約もあり、現時点では非常に困難であると考えている。